

# 高尿酸血症治療を考える会 in 東北

日時 2021年 9月22日 (水)  
19:00~19:50

本講演会はネット回線を介したWEB講演となります。  
この講演会のWEB参加には事前登録が  
必要です。登録については裏面をご参照ください。

\* 18時50分よりログイン可能です。

座長

19:00~19:50

岩手医科大学医学部 内科学講座 腎・高血圧分野

教授 旭 浩一 先生

演者

## 尿酸代謝と高尿酸血症 治療の温故知新

東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 准教授 森本 玲 先生

### 【講演概要】

無症候性の高尿酸血症は高血圧症やCKD等との合併において循環器疾患のリスク因子であり治療が必要である、という認識の根拠となる疫学データが近年多数報告されつつある。「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン（第3版）2019年改訂」において「痛風や高尿酸血症」の治療目標は血清尿酸値 6.0mg/dL以下と規定されている。しかし、本邦リアルワールドデータが示す目標達成の実績値は平均50%未満である。何故、治療目標値が「6.0 mg/dL以下」であるのか。何故、コントロールが難しいのか。本講演では「尿酸」の化学的性質から心腎血管イベント発症リスクとの関連まで、また、特に悩ましい尿酸降下薬の適切な選択に関して、病態に関する最新の捉え方、昨年新規に上市された「選択的URAT1阻害薬」の使用経験も踏まえ、その位置付けについて講演いたします。

### 【参加時ご記帳・Web登録内容の取扱いについて】

ご記帳・Web登録内容は、(株)富士薬品持田製薬(株)における医薬品の適正使用にかかわる情報活動に使用させていただく場合がございます。また、安全管理のために必要な処置をとり、第三者に提供することなく管理いたします。

共催：持田製薬株式会社/株式会社富士薬品